

# まなびの輪

## - Work Hard in the Background -

教育・研究

課外活動

地域交流

国際交流

代表者：人文学部人文コミュニケーション学科3年次 川本 早紀

### 連携先

大洗町役場 まちづくり推進課

### 顧問教員

横溝 環（人文学部・准教授）

### 参加者

川本 早紀（人文学部3年）

阿部 梓（人文学部3年）

井上 美里（人文学部3年）

上野奈緒子（人文学部3年）

軽部 蓮（人文学部3年）

藤井 駿丞（人文学部3年）

横田 千尋（人文学部3年）

吉岡 杏（人文学部3年）

小川 泉（教育学部3年）

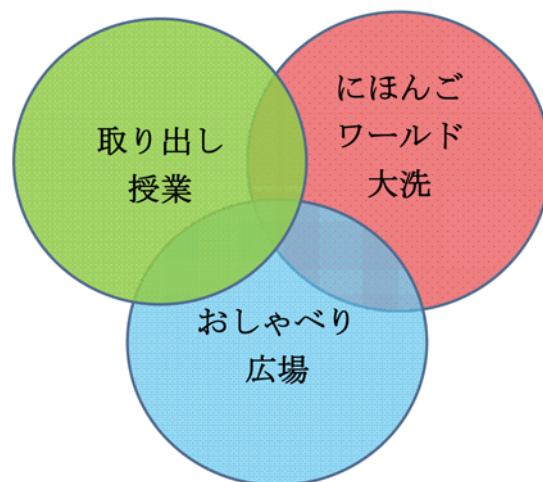
菅 祐希菜（人文学部3年）

藤堂みさ都（人文学部3年）

柳町 直（教育学部3年）

行われている「取り出し授業」（外国人児童を対象とした学習支援）のサポート、③在住外国人の方に向けた日本語学習の場である「にほんごワールド大洗」の3つの軸から成る。大洗町住民のニーズに応じた活動を実施することにより、住民が地域に積極的にかかわっていくための一助となることを目指す。

### プロジェクトの成果報告



### プロジェクトの概要

本プロジェクトは、大洗町国際交流協会と連携し、大洗町在住の外国人と日本人、また外国人同士・日本人同士の結びつきを強め、多文化共生のまちづくりを推進することを目的とする。

今年度は、昨年度のニーズ調査で得た結果をもとに、在住外国人への日本語学習支援を中心とした活動にまで幅を広げた。具体的な活動内容は、①大洗町住民間の情報交換の場である「おしゃべり広場」、②大洗小学校で

本プロジェクトでは、以下の3つを軸に活動した。

#### (1) おしゃべり広場

おしゃべり広場とは、大洗町住民の方々に情報交換の場を提供することを目的とした企画である。7月5日にジェスチャーゲーム、11月8日にカラオケ大会、2月7日にスポーツ大会を実施した。1回あたり約30~40名、小学生からご年配者まで幅広い方々に参加していただくことができた。

また、まなびの輪のメンバーも企画・運営するだけでなく、活動に参加した。大洗町住民の方々と楽しい時間を共有することで、より密接な信頼関係を築くことができた。



スポーツ大会の様子

さらに、参加者に多文化共生をイメージしたステッカーをデザインしていただいた。このステッカーは、大洗町の行事で地域住民の方々に配布した。このステッカーを見た方々が、「にほんごワールド大洗」の日本語ボランティアとして参加して下さった。



第1回目のおしゃべり広場で作成したステッカー

## (2) 取り出し授業

取り出し授業とは、日本語指導が必要な外国人児童に対して、通常の授業とは別教室で教える取り組みである。大洗小学校で実施しているその授業に「日本語指導サポーター」

として、前期は週に3日、後期は週に1～2日の頻度で参加した。

大きな成果の一つとして、昨年度に引き続き活動を行ったことで、児童との関係を深められたという点が挙げられる。私たちの参加により、一人ひとりの児童が密度の高い学習をすることが可能になった。さらに、まなびの輪のメンバーが取り出し授業に来ることを、児童がとても楽しみにしていると小学校の先生からうかがった。このことから、児童の学習意欲の向上をサポートすることができたとと言える。

また、学校行事にも参加することで、地域住民、特に外国人児童の保護者とのつながりを持つことができた。これは「にほんごワールド大洗」開設の大きな足掛かりになった。



取り出し授業の様子

## (3) にほんごワールド大洗

にほんごワールド大洗とは、大洗町住民のニーズを受け、今年度から開設・実施した外国人向けの日本語学習の場である。6月からの顔合わせとレベルチェックを経て、9月末から本格的に活動を開始した。基本的には、第2・4水曜日の18:30～20:00に大洗町役場の小会議室で開講している。



ボランティアの方との学習風景

日本語教室を継続させることで、在住外国人がいつでも安心して参加できる学習の場を提供することができた。また日本語学習を必要とする在住外国人がいた場合に、その都度日本語学習の場を紹介することも可能になった。



日本語能力試験 2 級に合格した学習者さんと

さらに、いずれはこの活動を大洗町住民に引き継いでもらえるよう、日本語ボランティア養成講座を開催した。全部で 2 回行い、日本語教育の心得などを扱った。このプロジェクトの担当教員である横溝先生を講師とし、参加者の方とまなびの輪のメンバーと一緒に学習した。

加えて、この活動が2015年10月9日の茨城新聞に取り上げられた。学習者の一人は、「役に立つし、先生たちは分かりやすく楽しい。続けたい」とインタビューに答えている。



2015年10月9日付 茨城新聞より

#### (4) その他の活動

メインの3つの活動のほかに、大洗町の行事である盆踊り・八朔祭りのお手伝いをした。



盆踊りのタベのお手伝いの様子

#### (5) 全体の成果

第一に、前年度から引き継いだ活動（おしゃべり広場・取り出し授業）を継続することで、まなびの輪のメンバーと大洗町住民とのつながりを強めることができた。

第二に、大洗町念願の「にほんごワールド大洗」を開設・継続することができている。

第三に、まなびの輪の活動をきっかけに、在住外国人、大洗町役場、そして大洗小学校の間につながりができてきた。このプロジェ

クトの活動は、将来的に大洗町住民が主体となって継続されることが目標であるため、大洗町住民間の関係強化は必須である。したがって大洗町住民間のネットワークを広げることができたのは大きな成果だ。



これからは、現活動を充実させるとともに、大洗町住民が活動の主体となっていけるよう考えていく必要がある。そして、ゆくゆくは、大洗町を多文化共生のロールモデルにすることを目指す。